

特定非営利活動法人 日本歯科保存学会
2023年度秋季学術大会（第159回）
プログラムおよび講演抄録集

Program and Abstracts
The 159th Meeting of the Japanese Society of Conservative Dentistry
Nov 11-12, 2023, Hamamatsu

会期：2023年11月11日（土）、12日（日）
浜松市 アクトシティ浜松

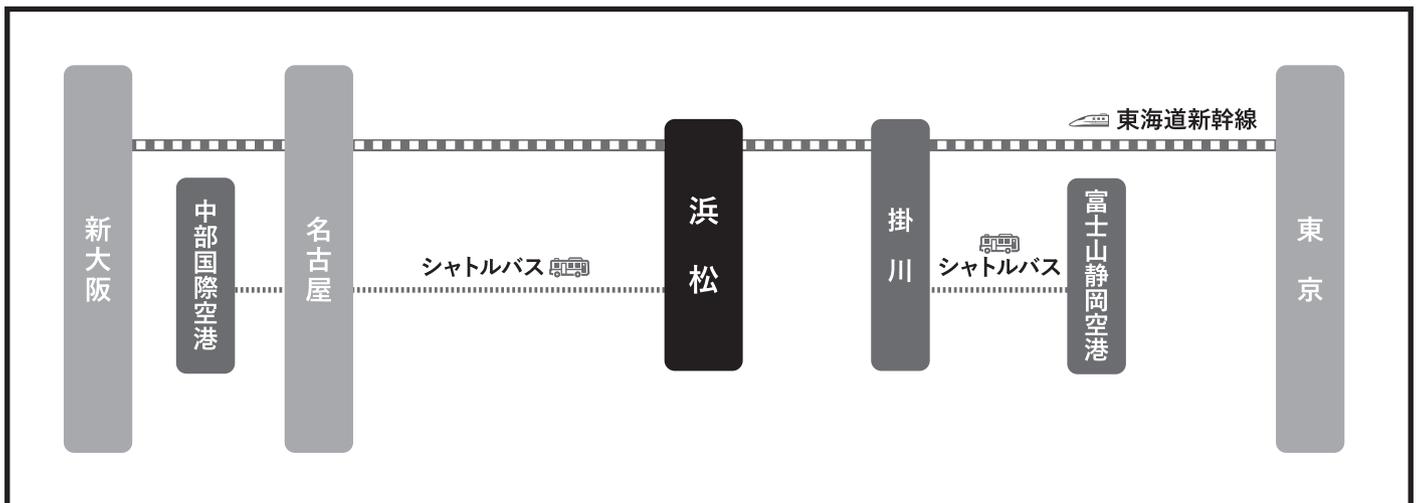
大会テーマ：「人生100年時代」の歯の保存



■会場へのご案内■



交通のご案内



特定非営利活動法人 日本歯科保存学会
2023年度 秋季学術大会（第159回）
プログラムおよび講演抄録集

Program and Abstracts,
The 159th Meeting of the Japanese Society of
Conservative Dentistry
Nov 11-12, 2023, Hamamatsu

会 期： 2023年11月11日（土）9：00～18：00
11月12日（日）9：00～15：40

会 場： アクトシティ浜松
〒430-7790 静岡県浜松市中区板屋町111-1
TEL：053-451-1111

大会長： 二階堂 徹 教授
(朝日大学歯学部口腔機能修復学講座歯科保存学分野歯冠修復学)

日本歯科保存学会 HP：<http://www.hozon.or.jp>
学術大会 HP：<https://shikahozon.jp/159>

A会場：1F 大ホール
B会場：4F コングレスセンター 41 会議室
C会場：4F コングレスセンター 43・44 会議室
D会場：5F コングレスセンター 52～54 会議室
ポスター会場：3F コングレスセンター 31 会議室
企業展示会場：①1F 大ホール ロビー, ②3F コングレスセンター ロビー

学術大会に参加される方へ、お知らせとお願い

1. 参加登録

受付は11月11日、12日ともに8:30からコンgresセンター1Fロビーの学術大会総合受付にて行います。事前登録がお済みの方は、事前に送付した参加証をご持参のうえ、コンgresバッグ引換コーナーまでお立ち寄りください。資料等をお渡しいたします。当日登録の方は、受付に用意されている当日参加登録用紙に必要事項をご記入のうえ、当日受付にて登録を行ってください（当日登録料：12,000円）。

2023年9月29日（金）までに参加費入金の確認ができなかった皆様は、当日登録扱いとさせていただきます。開催当日に「当日参加登録受付」にて当日登録料（12,000円）をお支払いのうえ、学会にご参加いただきますよう何卒よろしくお願ひいたします。

2. 抄録集・プログラムについて

抄録集はPDF形式での公開となりますので配布はございません。

プログラムは、当日参加者には会場にて配布、Web参加者には郵送します。

3. 企業展示会場（大ホールロビーおよびコンgresセンター3F）にて各企業による企業展示を行います。

4. ランチョンセミナー

ランチョンセミナーの参加申込につきましては、ランチョンセミナー協賛企業が企業展示会場にて企業展示を行っていますので、各ブースで参加チケットをお受け取りのうえ、ご参加ください。

5. クローク

クロークはコンgresセンター1Fにご用意いたします。

開設時間は、下記のとおりです。

11月11日（土）8:30～18:30

11月12日（日）8:30～16:00

なお、貴重品・傘はお預かりできませんので、各自で管理をお願いいたします。

また、日にちをまたいでのお荷物のお預かりはできません。

6. 撮影について

発表者の許可なく写真撮影、ビデオ撮影（録画）、録音はできません。雑誌や広報などを目的とした取材に関しては、事前に運営事務局の承諾を得たものに限り許可されます。

詳しくは運営事務局までお問い合わせください。

7. 呼び出しについて

会場内での呼び出しは行いません。緊急の場合は、総合受付へお申し出ください。

8. 携帯電話について

会場内では、必ずマナーモードにしてください。また、その他の電子機器（PC、DVDなど）についても、会場内では音声オフ、ディスプレイの明るさを落としてご使用ください。

9. 駐車場

お車でご来場の方は、会場の有料駐車場をご利用ください。参加者割引等の対応はございませんので、ご了承ください。

10. 感染防止対策について

- ・発熱・味覚障害・体調不良などの症状がある方の現地参加はご遠慮ください。
- ・マスクの着用：個人の判断に委ねることとします。
- ・3密を避けるため、講演会場内での立ち見は禁止です。
- ・消毒薬による手洗い：会場の出入口および会場内に設置した消毒薬を使用してこまめに消毒をお願いします。
- ・会場内で気分が悪くなった場合は直ちにスタッフに申し出てください。

※当日会場内における対策

感染防止対策として以下を実施いたします。

- ・会場内の主要ポイントにて、消毒液の設置を行う。
- ・換気のため講演会場のドアはできるだけ開けておく。
- ・人が列を作ると思われる場所においては、前後のスペースを広くとるよう、誘導する。

11. Web 参加について

本会は現地開催とオンデマンド配信のハイブリッド開催となります。オンデマンド配信は、11月30日（木）より、本大会ホームページ（<http://shikahozon.jp/159>）から Web 視聴サイトにログインのうえ、ご参加ください。詳細につきましては、本大会ホームページをご確認ください。

なお、ログインの際、参加証ならびにメールにてお知らせする参加 ID 等のご入力が必要となります。

発表者へのご案内

1. 口演発表

現地発表と併せて、オンデマンド配信用の動画ファイルの作成をお願いいたします。オンデマンド配信期間中は、Web サイトにおいて参加者限定で公開いたします（全演題）。

1) 現地における口演発表について

- ・発表時間は8分、質疑応答が2分です。円滑な会の進行と討論を実現させるため、発表時間は厳守してください。
- ・ご発表には、液晶プロジェクターを1台のみ使用します。当日使用するパソコンは大会主催者側が用意したものとさせていただきます。
- ・大会主催者側が準備するパソコンのOSはWindows 10、プレゼンテーションソフトはPower Pointです。また、動画や音声の利用については対応できませんのでご注意ください。なお、Macintoshには対応いたしませんのでご注意ください。
- ・Macintoshで発表データを作成した場合は、あらかじめWindowsにて動作確認および文字化け、フォントのズレ等をチェックしたうえでPC受付に提出してください。
- ・提出データのファイル名様式は、【演題番号-発表者の氏名.ppt (pptx)】で統一いたします。
- ・不測の事態に備えて、必ずバックアップデータをお持ちください。
- ・COI（利益相反）のスライドを発表スライドの2枚目に入れてください。
- ・発表に使用するスライド中の図表およびその説明・注釈は英文で表記してください。

当日の流れ

- ・現地発表に使用するファイルは、学会当日にUSBメモリ（またはCD-R）にてご持参ください。当日は、「PC受付」にて、口演開始1時間前（A1～3, B1, 2の方は30分前）までに必ずファイルの確認と修正を終えてください。
PC受付 11月11日（土）8:30～17:00 コンgressセンター 1F ロビー内
- ・オペレーターが1枚目のスライドをスライドショーで表示いたしますので、発表時のスライドの操作はご自身で行ってください。
- ・発表データは、学会終了後に運営事務局が責任をもって消去いたします。

2) オンデマンド配信における口演発表について

- ・発表時間8分以内のMP4ファイルをあらかじめ作成してご提出ください。Web サイトにおいて公開いたします（全演題）。MP4ファイルは会場で口頭発表の際に使用されるパワーポイントを基に作成願います。
- ・発表者顔写真を1枚目のスライドに掲載してください。
- ・COI（利益相反）のスライドを2枚目に入れてください。
- ・発表に使用するスライド中の図表およびその説明・注釈は英文で表記してください。
- ・Web参加された方からの質問をWeb上にて受け付け、発表者に転送いたしますので、質問者への回答をお願いいたします。

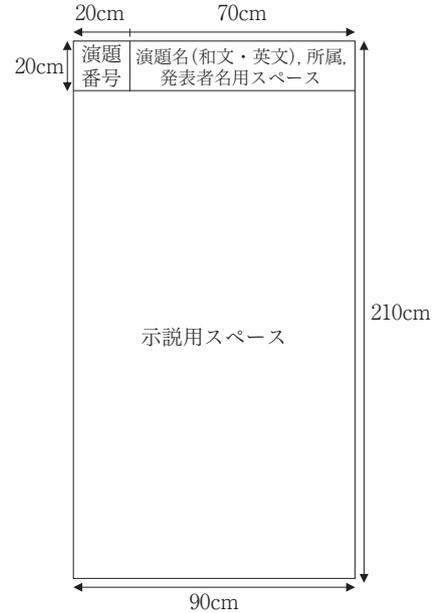
2. ポスター発表

- ・ポスターは現地発表用（印刷版）とオンデマンド配信用（PDFファイル）の2種類を作成いただきます。
- ・オンデマンド配信期間中は、Web サイトにおいて参加者限定でオンデマンド配信用データ（PDF版）がポスター発表として公開されます（全演題）。

1) 現地におけるポスター発表について

ポスター発表掲示形式

- ポスターパネル（現地発表用）は、掲示可能なスペースが横 90 cm、縦 210 cm で、そのうち最上段の縦 20 cm は演題名等用のスペースとし、本文の示説用スペースは横 90 cm、縦 190 cm とします。
- 最上段左側の横 20 cm、縦 20 cm は演題番号用スペースで、演題番号は大会主管校が用意します。
- 最上段右側の横 70 cm、縦 20 cm のスペースに、演題名、所属、発表者名を表示してください。なお演題名の文字は、1 文字 4 cm 平方以上の大きさとし、また共同発表の場合、発表代表者の前に○印を付けてください。演題名の英文併記をお願いいたします。
- ポスター余白の見やすい位置に、発表代表者が容易にわかるように手札判（縦 105 mm、横 80 mm）程度の大きさの顔写真を掲示してください。
- COI（利益相反）の記載をお願いします。
- ポスターには図や表を多用し、見やすいように作成してください。3 m の距離からでも明瞭に読めるようにしてください。図表およびその説明・注釈は英文で表記してください。研究目的、材料および方法、成績、考察、結論などを簡潔に記載してください（※症例報告の場合は、緒言、症例、経過、予後、考察、結論）。
- ポスター掲示用の押しピンは発表者ご自身で用意してください。
- ポスターを見やすくするために、バックに色紙を貼ることは発表者の自由です。



日程

すべてのポスター演題を 2 日間掲示していただきます。

ポスター準備 11 月 11 日（土）8：30～9：30

ポスター発表①11 月 11 日（土）14：10～14：40

「専門医優秀症例発表賞選考対象演題」「認定医優秀症例発表賞選考対象演題」

「優秀発表賞選考対象演題」「奇数番号演題」

②11 月 12 日（日）13：15～13：45 「偶数番号演題」

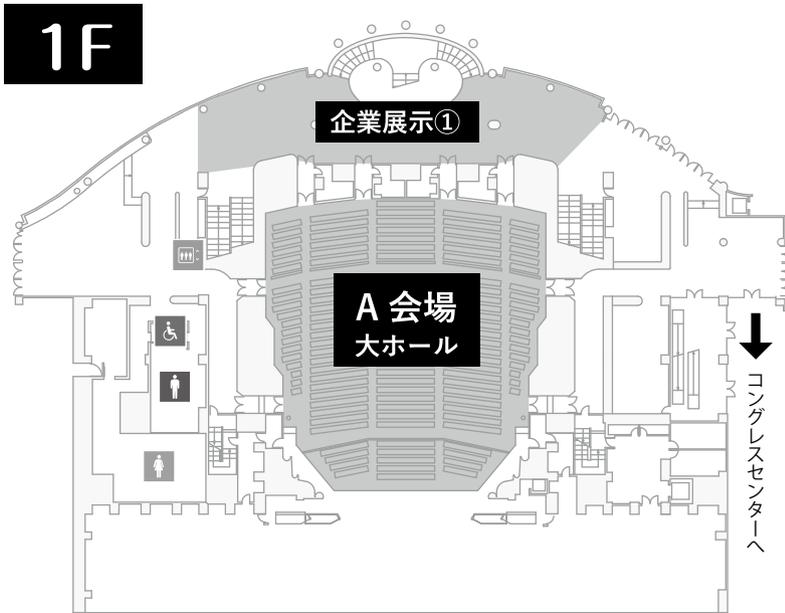
ポスター撤去 11 月 12 日（日）15：00～16：00

時間内に撤収されない場合は、学術大会事務局にて処分いたします。

2) オンデマンド配信におけるポスター発表について

- ご作成いただいたポスターデータ（PDF データ）を事前にお送りいただきます。
- COI（利益相反）の記載をお願いします。
- お送りいただいた PDF は、オンデマンド配信の Web サイトにおいて、期間中に公開させていただきます。
- Web 参加された方からの質問を Web 上にて受け付け、発表者に転送いたしますので、質問者への回答をお願いいたします。

【会場案内図】



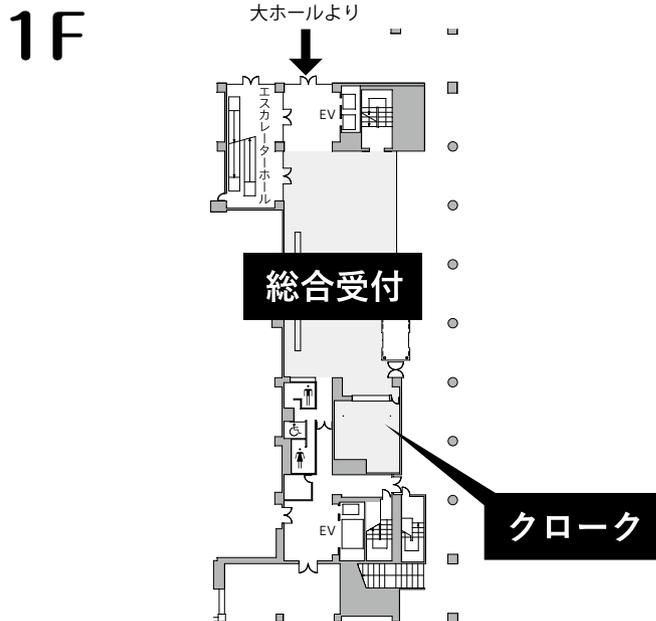
1F

企業展示会場 ① (ロビー)

A会場 (大ホール)

- ・ 開会式 (11日)
- ・ 研究発表 (11日・12日, 口演)
- ・ 特別講演 (11日)
- ・ シンポジウム1 (11日)
- ・ シンポジウム2・3 (12日)
- ・ 表彰式 (11日)
- ・ 次期学術大会紹介 (11日)
- ・ 認定研修会 (11日)
- ・ 閉会式 (12日)

アクトシティ浜松 コンgresセンター



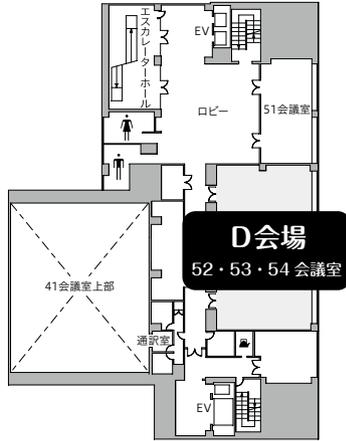
1F

総合受付

- ・ 参加登録受付
- ・ PC受付 (口演)
- ・ 新入会, 年会費受付
- ・ クローク

アクトシティ浜松 コンgressセンター

5F

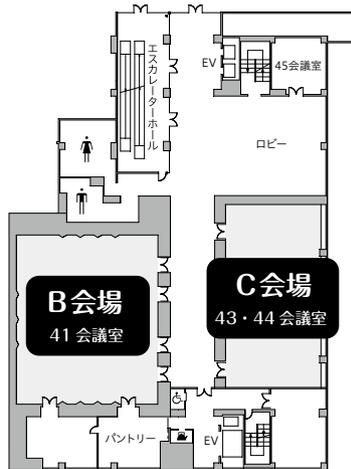


5F

D会場 (52~54会議室)

- ・ランチョンセミナー3 (11日)
- ・ランチョンセミナー5 (12日)

4F



4F

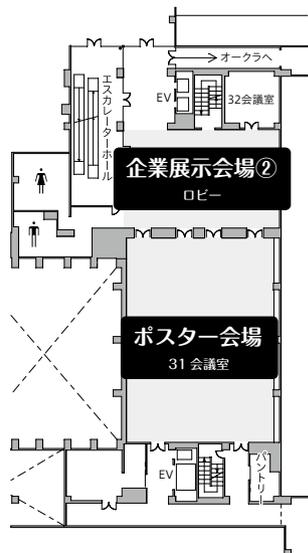
B会場 (41会議室)

- ・研究発表 (11日・12日, 口演)
- ・ランチョンセミナー1 (11日)
- ・認定歯科衛生士教育講演 (11日)
- ・歯科衛生士シンポジウム (12日)
- ・編集連絡委員会 (12日)

C会場 (43・44会議室)

- ・ランチョンセミナー2 (11日)
- ・ランチョンセミナー4 (12日)

3F



3F

ポスター会場 (31会議室)

企業展示会場 ② (ロビー)

学術大会スケジュール 前日 11月10日(金)

時間	アクトシティ浜松			
	5F 52会議室	5F 53会議室	5F 54会議室	4F 41会議室
11:00				
12:00	11:30~12:30 認定委員会	11:30~12:30 渉外委員会	11:30~12:30 認定歯科衛生士審査委員会	
13:00	12:30~13:30 表彰委員会	12:30~13:30 教育問題委員会	12:30~13:30 学術用語委員会	
14:00	13:30~14:30 国際交流委員会	13:30~14:30 学術委員会	13:30~14:30 選挙管理委員会	
15:00				15:00~18:00 理事会 ※ハイブリッド形式で開催 (Zoom参加可能)
16:00				
17:00				
18:30~ 理事懇親会 オークラアクトシティホテル浜松				

※理事会のみハイブリッド形式で開催します。委員会は会場開催のみです。

学術大会スケジュール 第1日目 11月11日(土)

時間	コンgresセンター	大ホール	コンgresセンター				企業展示会場 (大ホールロビー・ コンgresセンター 3Fロビー)
	総合受付 (ロビー)	A会場	B会場 (4F 41会議室)	C会場 (4F 43・44会議室)	D会場 (5F 52～54会議室)	ポスター会場 (3F 31会議室)	
8:30	受付開始						
9:00		開会式 A1 A2 A3 A4 A5	B1 B2 B3 B4 B5				8:30～9:30 ポスター準備
10:00		10:10～10:50 特別講演1					9:30～14:10 ポスター掲示
11:00		11:00～11:40 特別講演2					
12:00			12:00～12:50 ランチョン セミナー1	12:00～12:50 ランチョン セミナー2	12:00～12:50 ランチョン セミナー3		
13:00		A6 A7 A8 A9 A10	B6 B7 B8 B9 B10 B11				
14:00							14:10～14:40 ポスター発表①
15:00		14:50～16:20 シンポジウム1 認定プログラム 2単位 ※入室時にバーコード カードをスキャンして ください					14:40～17:00 ポスター掲示
16:00		表彰式					
	受付終了	次期学術大会紹介					
17:00		17:00～18:00 認定研修会 5単位 ※退室時にバーコード カードをスキャンして ください	17:00～18:00 認定歯科衛生士 教育講演				

学術大会スケジュール 第2日目 11月12日(日)

時間	コンgresセンター	大ホール	コンgresセンター				企業展示会場 (大ホールロビー・ コンgresセンター 3Fロビー)
	総合受付 (ロビー)	A会場	B会場 (4F 41会議室)	C会場 (4F 43・44会議室)	D会場 (5F 52～54会議室)	ポスター会場 (3F 31会議室)	
8:30	受付開始						
9:00		A11 A12 A13 A14 A15	B12 B13 B14 B15 B16				9:00～13:15 ポスター掲示
10:00		10:00～11:50 シンポジウム2	10:00～11:30 歯科衛生士 シンポジウム				
11:00							
12:00			12:00～13:00 編集連絡委員会	12:00～12:50 ランチョン セミナー4	12:00～12:50 ランチョン セミナー5		
13:00						13:15～13:45 ポスター発表②	
14:00		14:00～15:30 シンポジウム3 認定プログラム2単位 ※入室時にバーコード カードをスキャンして ください				13:45～15:00 ポスター掲示	
15:00		閉会式				15:00～16:00 ポスター撤去	

特別講演 1

研修コード【2599】

日時：2023年11月11日（土）10時10分～10時50分

会場：A会場（1F 大ホール）

座長：二階堂 徹 先生

（日本歯科保存学会2023年度秋季学術大会大会長，朝日大学歯学部口腔機能修復学講座歯科保存学分野歯冠修復学 教授）

講演名：Current Status of Dental Education and the Importance of Brazilian Research for Restorative Dentistry

演者：Marcelo Giannini 先生
（カンピナス大学，ブラジル）

演者略歴

Marcelo Giannini became a Biochemistry Technician in 1987 and in 1989 started the undergraduate Course in Dentistry at the Piracicaba Dental School of the University of Campinas (FOP-UNICAMP, Piracicaba, SP, Brazil). He obtained his DDS degree in 1992, Master in 1997, and Ph. D. in 1999 in Clinical Dentistry. Marcelo's current professional position is part-time (24 h), Full Professor at FOP-UNICAMP.

Marcelo has maintained a private dental practice 20 hours per week, besides intensive continuing education work. He has presented several abstracts, Lunch & Learn, participated in symposia, served as a moderator, reviewer or referee and given lectures at several Brazilians and international meetings.

He coordinated the Graduate Program of Dental Materials during 2010-2014 and was the Chairman of the Department of Restorative Dentistry (2009-2010). Marcelo has authored/co-authored 357 original research papers. He has been the recipient of several awards and honors, such as the Paffenbarger Awards from Academy of Dental Materials (2004 and 2017), Honorable Mentions from the Federal Deputy members of Brazilian Congress and from the Brazilian Capes Theses Competition (2020).

He has contributed with his experience in positions such as: "President" of the IAAD (2019-2021) and DMG-IADR "Secretary/Treasurer" (2019-2022). Regarding the contribution to the formation of human resources for teaching, research and clinical dentistry, he supervised 31 Master's, 23 Ph. D. student and 6 Postdoctoral fellows. He is the recipient of several important grants from Brazilian Governmental Agencies and serves as referees for several high-impact journals in dentistry and material sciences.



特別講演 2

研修コード【3102】

日 時：2023年11月11日（土）11時00分～11時40分

会 場：A会場（1F 大ホール）

座 長：二階堂 徹 先生

（日本歯科保存学会2023年度秋季学術大会大会長，朝日大学歯学部口腔機能修復学講座歯科保存学分野歯冠修復学 教授）

講演名：The Role of Nano-Hydroxyapatite Technologies in Dentistry

演 者：Bennett T. Amaechi 先生
（テキサス大学，アメリカ）

演者略歴

Bennett T. Amaechi, a professor of comprehensive dentistry and director of Cariology at the School of Dentistry of the University of Texas Health San Antonio (UTHSA), Texas, USA, is a world-renowned expert in his field with sustained excellence in both teaching and research skills. His teaching and research methods have proven successful, earning him the 2022 Regent's Outstanding Teacher Award by the University of Texas System Boards of Regents, 2019 Presidential Award for Sustained Excellence in Teaching, 2015 Teaching Excellence Award by UTHSA dental school Faculty Assembly, 2014 Faculty Leadership Award by the UTHSA Faculty Senate, and 2010 Outstanding Mentor Award by the University of Texas at San Antonio Honor College. His interest in academic dentistry is what took him from Nigeria, by way of England, to San Antonio. Earning his dental degree from the University of Ife in Nigeria, he moved to England. While there, he did a combined two-year residency and master's degree in Prosthodontics from the University of London, and received an appointment to the University of Liverpool School of Dentistry, where he earned his Ph. D. in Cariology and preventive dentistry. He is a Member of the Faculty of Dental Surgery of the Royal College of Physicians and Surgeons of Glasgow. His exemplary record of research accomplishments has focused on dental caries, clinical trials, and oral care product development. He has written a book on dental erosion, 11 book chapters, 26 review articles, and several high-impact research articles. He served as the chair of the Faculty Senate of UTHSA, and the UTHSA representative at the University of Texas System Faculty Advisory Council. He served as an elected member of the Advisory Board of the European Organization for Caries Research (2005-2008). In American Dental Education Association, Dr. Amaechi is a member of both the Cariology Section and the CAMBRA coalition (Caries management by risk Assessment), where he serves as the liaison between the American and the European groups on the development of a core cariology curriculum. As a member of the International Association for Dental Research (IADR), he served as the President, President-elect, and Secretary/Treasurer, and Group Program Chair of the Cariology Research group. Through his collaboration with foreign institutions, Dr. Amaechi has mentored students, faculty, and fellows, both in US and overseas in several countries.



シンポジウム 1

研修コード【2603】

日本接着歯学会との合同企画・学会主導型シンポジウム

接着を活用した歯の保存戦略

認定委員会による認定プログラム（研修単位：2単位）

日時：2023年11月11日（土）14時50分～16時20分

会場：A会場（1F 大ホール）

座長：斎藤隆史 先生

（北海道医療大学歯学部口腔機能修復・再建学系う蝕制御治療学分野 教授）

講演1：歯科接着を活用して歯の保存を目指そう

演者：坪田有史 先生

（坪田デンタルクリニック）

演者略歴

- 1989年 鶴見大学歯学部卒業
- 1994年 鶴見大学大学院歯学研究科修了 博士（歯学）
鶴見大学歯学部歯科補綴学第2講座助手
- 2007年 鶴見大学歯学部歯科補綴学第2講座助教
- 2011年 鶴見大学歯学部ク라운ブリッジ補綴学講座助教（～12月）
- 2012年 坪田デンタルクリニック（東京都文京区）院長
鶴見大学歯学部臨床教授（～2013年）
- 2013年 鶴見大学歯学部非常勤講師（歯科理工学講座）



学会等活動

日本接着歯学会（理事長，接着歯科治療専門医・指導医），東京歯科保険医協会（会長），日本補綴歯科学会（専門医・指導医），日本歯科理工学会（Dental Materials Senior Adviser（歯科接着器材）），日本歯科保存学会，日本歯科審美学会，日本歯科医療管理学会，慶應義塾歯科三田会，ほか

講演2：垂直歯根破折の接着治療と長期予後

演者：菅谷 勉 先生

(北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野 歯周・歯内療法学教室
特任教授)

演者略歴

- 1985年 北海道大学歯学部卒業
北海道大学歯学部附属病院第2保存科医員
- 1988年 北海道大学歯学部附属病院第2保存科助手
- 1992年 博士(歯学)
- 1998年 北海道大学歯学部附属病院第2保存科講師
- 2002年 北海道大学大学院歯学研究科歯周・歯内療法学教室准教授
- 2019年 北海道大学大学院歯学研究科歯周・歯内療法学教室教授



学会等活動

日本歯科保存学会(専門医・指導医), 日本歯周病学会(専門医・指導医), 日本接着歯学会(専門医・指導医), 日本歯内療法学会, 日本外傷歯学会, 日本歯科理工学会, 日本再生医療学会, 日本バイオマテリアル学会

講演3：パーシャルデンチャー補綴における接着性コンポジットレジンの応用

演者：大久保力廣 先生

(鶴見大学歯学部口腔リハビリテーション補綴学講座 教授)

演者略歴

- 1986年 鶴見大学歯学部卒業
- 1990年 鶴見大学大学院歯学研究科修了
鶴見大学歯学部歯科補綴学第一講座助手
- 1996年 Visiting Scientist, Baylor College of Dentistry
- 2001年 鶴見大学歯学部口腔顎顔面インプラント科出向
- 2004年 Visiting Scientist, University of Uruguay
- 2005年 鶴見大学歯学部歯科補綴学第一講座講師
- 2009年 鶴見大学歯学部歯科補綴学第一講座教授
- 2016年 鶴見大学歯学部附属病院病院長
鶴見大学歯学部インプラントセンターセンター長
- 2018年 鶴見大学歯学部学部長(現在に至る)



会場参加の方へ

認定医・専門医の申請または更新のための研修参加記録(単位)を希望される方は、講演開始前(入室時)に、ご持参いただいたバーコードカード(研修単位管理システム)をスキャンして参加を記録してください。

オンライン参加の方へ

動画を最後まで視聴いただくと、画面上に修了証を発行するアイコンが表示されます。受講者ご自身でプリントアウトしていただき、認定医・専門医の新規申請・更新の手続きにご利用ください。

シンポジウム 2

研修コード【2503】

往古来今—研究・臨床・教育から考える歯内療法—

日時：2023年11月12日（日）10時00分～11時50分

会場：A会場（1F 大ホール）

座長：河野 哲 先生
（朝日大学歯学部口腔機能修復学講座歯科保存学分野歯内療法学 教授）

講演 1：“The 100-year life” に向けて歯内療法の高度化を考える

演者：武田克浩 先生
（広島大学大学院医系科学研究科 歯髄生物学研究室 講師）

演者略歴

2001年 広島大学歯学部歯学科卒業
2005年 広島大学大学院歯学研究科博士課程歯学系専攻修了
広島大学病院医員
2007年 広島大学大学院医歯薬学総合研究科歯周病態学分野助教
2012年 Weill Medical College, Department of Medicine, Division of Hematology & Medical
Oncology 客員研究員
広島大学大学院医歯薬保健学研究院歯周病態学研究室助教
2017年 広島大学大学院医歯薬保健学研究科歯周病態学研究室助教
2019年 広島大学病院歯科保存診療科講師
広島大学大学院医系科学研究科歯髄生物学研究室講師



学会等活動

日本歯科保存学会，日本歯内療法学会（専門医），日本歯周病学会（専門医・指導医），日本口腔ケア学会

講演2：Ni-Ti ロータリーファイルとバイオセラミックシーラーを用いた歯内療法の臨床的考察

演者：神戸 良 先生
(良デンタルクリニック)

演者略歴

2005年 昭和大学歯学部卒業
2013年 良デンタルクリニック開設

学会等活動

日本歯科保存学会，日本歯内療法学会，日本口腔顔面痛学会，American Association of Endodontists



講演3：歯学教育における歯内療法学の教授法

演者：河野 哲 先生
(朝日大学歯学部口腔機能修復学講座歯科保存学分野歯内療法学 教授)

演者略歴

1997年 朝日大学歯学部卒業
2001年 朝日大学大学院歯学研究科修了
朝日大学歯学部歯科保存学講座助手
2003年 朝日大学歯学部口腔機能修復学講座歯科保存学分野助手
(講座名称変更)
2007年 朝日大学歯学部口腔機能修復学講座歯科保存学分野講師
2010年 朝日大学歯学部口腔機能修復学講座歯科保存学分野准教授
2015年 University of California, Los Angeles, School of Dentistry : Research Scholar
(～2017年)
2017年 朝日大学歯学部口腔機能修復学講座歯科保存学分野教授



学会等活動

日本歯科保存学会 (専門医・指導医，理事)，日本歯内療法学会，日本歯科医学教育学会，日本歯科理工学会

シンポジウム 3

研修コード【2504】

歯の longevity を歯周病の立場から考える

認定委員会による認定プログラム（研修単位：2単位）

日時：2023年11月12日（日）14時00分～15時30分

会場：A会場（1F 大ホール）

座長：辰巳順一 先生
（朝日大学歯学部口腔感染医療学講座歯周病学分野 教授）

講演1：歯周治療は進化し、治療後の長期予後を変えているのか
—変わっていくもの、変わらないもの—

演者：大月基弘 先生
（DUO specialists dental clinic）

演者略歴

1999年 広島大学歯学部歯学科卒業
大阪大学歯学部附属病院勤務
2002年 赤野歯科医院勤務 分院長歴任
2012年 イエテボリ大学大学院歯周病学科専門医課程卒業
2013年 DUO specialists dental clinic 院長
2018年 大阪大学歯学研究科口腔科学専攻 博士（歯学）
2023年 広島大学大学院医系科学研究科歯周病態学研究室客員講師



学会等活動

ヨーロッパ歯周病学会（歯周病/インプラント専門医（European Federation of Periodontology 認定）、日本歯周病学会（専門医）、日本臨床歯周病学会（認定医/歯周インプラント認定医）、日本口腔インプラント学会、ITI、スカンジナビアンデンティストリー主宰

講演2：Longevityを考慮した歯周外科治療の実践
—変わっていくもの，変わらないもの—

演者：瀧野裕行 先生
(タキノ歯科医院)

演者略歴

1991年 朝日大学歯学部卒業
寺本歯科医院勤務
1995年 タキノ歯科医院開院
2005年 朝日大学歯学部非常勤講師
2006年 医療法人社団裕和会タキノ歯科医院設立
2010年 朝日大学歯学部客員教授
2018年 日本先進医療研修施設 (JIADS) 理事長就任



会場参加の方へ

認定医・専門医の申請または更新のための研修参加記録(単位)を希望される方は、講演開始前(入室時)に、ご持参いただいたバーコードカード(研修単位管理システム)をスキャンして参加を記録してください。

オンライン参加の方へ

動画を最後まで視聴いただくと、画面上に修了証を発行するアイコンが表示されます。受講者ご自身でプリントアウトしていただき、認定医・専門医の新規申請・更新の手続きにご利用ください。

歯科衛生士シンポジウム

ライフサイクルに適した口腔管理とは

研修コード【3408】

認定歯科衛生士審査委員会による認定研修プログラム（研修単位：4単位）
※日本歯科衛生士会 認定更新生涯研修指定プログラム

日時：2023年11月12日（日）10時00分～11時30分

会場：B会場（4F 41会議室）

座長：松崎英津子 先生
（福岡歯科大学口腔治療学講座歯科保存学分野 教授）

講演1：ライフコースアプローチによるう蝕予防
（Evidence-Based Caries Prevention より）

演者：麻生幸男 先生
（麻生歯科クリニック）

演者略歴

1996年 明海大学歯学部歯学科卒業
1999年 麻生歯科クリニック開設
2009年 小児歯科矯正歯科 ASO KIDS DENTAL PARK 開設
2014年 日本歯科大学附属病院総合診療科2 臨床講師
2017年 明海大学臨床講師
2023年 博士（歯学）（昭和大学歯科矯正学）



学会等活動

日本口腔インプラント学会（専門医）、ジャパンオーラルヘルス学会（認定医）、日本歯科先端技術研究所、CAMBRA（キャンブラ）インストラクター

講演2：歯科衛生士が行う歯周病予防とメンテナンス—歯周病とその再発の予防—

演者：小森朋栄 先生

(医療法人社団慧医会井荻歯科医院，花村歯科医院，日本歯科大学東京短期大学専攻科歯科衛生学科専攻 非常勤講師)

演者略歴

- 1981年 日本歯科大学付属歯科専門学校歯科衛生科卒業
日本歯科大学附属病院勤務
- 1989年 SWEDEN VÄRMLAND 州 KARLSTAD 予防歯科センター
Axelsson 教授に師事（～1990年）
- 1990年 日本歯科大学附属病院復職
- 1993年 フィリピン大学歯学部歯周病科インストラクター（～1998年）
- 1998年 花村歯科医院勤務
- 2000年 井荻歯科医院勤務
- 2007年 日本大学商業学部卒業
- 2009年 日本歯科大学東京短期大学専攻科歯科衛生学専攻非常勤講師



学会等活動

日本歯科衛生士会（摂食・嚥下リハビリテーション分野，研修指導者・臨床実地指導者認定歯科衛生士），日本歯周病学会（認定歯科衛生士），日本医療機器学会（第2種滅菌技士認定），日本口腔衛生学会

講演3：歯科訪問診療で求められる口腔健康管理

演者：野村玲奈 先生

(朝日大学医科歯科医療センター歯科衛生部 副歯科衛生士長)

演者略歴

- 2005年 名古屋外国語大学国際経営学部国際経営学科卒業
大手アパレル企業勤務（～2012年）
- 2015年 朝日大学歯科衛生士専門学校卒業
朝日大学 PDI 岐阜歯科診療所
- 2017年 朝日大学歯学部附属病院（現：朝日大学医科歯科医療センター）
- 2022年 朝日大学医科歯科医療センター歯科衛生部副歯科衛生士長



学会等活動

日本摂食嚥下リハビリテーション学会（認定士），日本歯科保存学会（認定歯科衛生士：う蝕予防管理）

会場参加の方へ

講演終了後に受講票をお配りしますので，認定歯科衛生士の新規申請・更新の手続きにご利用ください。

オンライン参加の方へ

動画を最後まで視聴いただくと，画面上に修了証を発行するアイコンが表示されます。受講者ご自身でプリントアウトしていただき，認定歯科衛生士の新規申請・更新の手続きにご利用ください。

認定研修会

研修コード【2112】

認定委員会による認定研修会（研修単位：5単位）

日時：2023年11月11日（土）17時00分～18時00分

会場：A会場（1F 大ホール）

座長：林 美加子 先生

（大阪大学大学院歯学研究科 歯科保存学講座 教授，日本歯科保存学会理事
会長）

講演名：歯科保存専門医制度の現状と今後の展開

演者：北村知昭 先生

（九州歯科大学歯学部口腔機能学講座口腔保存治療学分野 教授）

演者略歴

1989年 九州歯科大学卒業
1992年 日本学術振興会特別研究員
1993年 九州歯科大学大学院歯学研究科博士課程修了
米国 NIH 在籍
1994年 九州歯科大学歯科保存学第1講座助手
2010年 九州歯科大学口腔保存治療学分野教授
2019年 日本歯科保存学会副理事長
2023年 歯科保存専門医認定委員会委員長



学会等活動

日本歯科保存学会（常任理事，指導医・専門医），日本歯内療法学会（理事，指導医・専門医），他

会場参加の方へ

認定医・専門医の申請または更新のための研修参加記録（単位）を希望される方は，講演開始から終了まで受講することが必要です。研修会終了後に，ご持参いただいたバーコードカード（研修単位管理システム）をスキャンして参加を記録してください。

オンライン参加の方へ

動画を最後まで視聴いただくと，画面上に修了証を発行するアイコンが表示されます。受講者ご自身でプリントアウトしていただき，認定医・専門医の新規申請・更新の手続きにご利用ください。

認定歯科衛生士教育講演

研修コード【3406】

認定歯科衛生士審査委員会による認定研修プログラム（研修単位：4単位）
※日本歯科衛生士会 認定更新生涯研修指定プログラム

日時：2023年11月11日（土）17時00分～18時00分

会場：B会場（4F 41会議室）

座長：湯本浩通 先生
（徳島大学大学院医歯薬学研究部歯周歯内治療学分野 教授）

講演名：超高齢化先進地域「奥会津」における超高齢者歯科の実践

演者：福島正義 先生
（福島県昭和村国民健康保険診療所，新潟大学名誉教授）

演者略歴

1978年 新潟大学歯学部卒業
1982年 新潟大学大学院歯学研究科修了
新潟大学歯学部附属病院（～2004年）
助手・講師（第1保存科）・助教授（総合診療部）
2004年 新潟大学歯学部口腔生命福祉学科教授
2018年 福島県昭和村国民健康保険診療所歯科長
2019年 新潟大学名誉教授



学会等活動

日本歯科保存学会（名誉会員），日本老年歯科医学会（名誉会員），日本接着歯学会（元会長），日本歯科審美学会（顧問），全国歯科衛生士教育協議会（元副理事長），日本歯科衛生学会（元顧問），日本歯科衛生教育学会（元理事）

会場参加の方へ

講演終了後に受講票をお配りしますので，認定歯科衛生士の新規申請・更新の手続きにご利用ください。

オンライン参加の方へ

動画を最後まで視聴いただくと，画面上に修了証を発行するアイコンが表示されます。受講者ご自身でプリントアウトしていただき，認定歯科衛生士の新規申請・更新の手続きにご利用ください。

第1日目 B会場

ランチョンセミナー 1

日時：2023年11月11日（土）12時00分～12時50分

会場：B会場（4F 41会議室）

講演名：Universal シェードを有するフロアブル CR 修復の進化と可能性

演者：高橋真広 先生

（医療法人社団 TDG トータル歯科東京青井/東京医科歯科大学 う蝕制御学
分野 非常勤講師）

演者略歴

2006年 東京医科歯科大学歯学部卒業
2011年 東京医科歯科大学大学院博士課程修了（歯学博士）
東京医科歯科大学歯学部附属病院むし歯外来医員
2012年 Georgia Health Science University 客員研究員
2013年 東京医科歯科大学歯学部附属病院むし歯外来医員
2016年 東京医科歯科大学う蝕制御学分野非常勤講師（現任）
トータル歯科東京青井開院
2020年 医療法人社団 TDG 設立
2021年 東京医科歯科大学歯学部附属病院臨床教授
2022年 医療法人社団 TDG 理事長就任（現任）



学会等活動

日本歯科保存学会（専門医）、日本歯科審美学会（認定医）、日本接着歯学会、日本口腔インプラント学会

（協賛：クラレノリタケデンタル株式会社）

ランチオンセミナー 2

日時：2023年11月11日（土）12時00分～12時50分

会場：C会場（4F 43・44会議室）

講演名：エンドノズル #30（オレンジ）とメタシール Soft ペーストによる
ハイスペックな接着根管充填がもたらす根管治療へのバタフライエフェクト

演者：菅谷 勉 先生
（北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野 歯周・歯内療法学教室
特任教授）

演者略歴

1985年 北海道大学歯学部卒業
北海道大学歯学部附属病院第2保存科医員
1988年 北海道大学歯学部附属病院第2保存科助手
1992年 博士（歯学）
1998年 北海道大学歯学部附属病院第2保存科講師
2002年 北海道大学大学院歯学研究科歯周・歯内療法学教室准教授
2019年 北海道大学大学院歯学研究科歯周・歯内療法学教室教授



学会等活動

日本歯科保存学会（専門医・指導医）、日本歯周病学会（専門医・指導医）、日本接着歯学会（専門医・指導医）、日本歯内療法学会、日本外傷歯学会、日本歯科理工学会、日本再生医療学会、日本バイオマテリアル学会

（協賛：サンメディカル株式会社）

ランチョンセミナー 3

日時：2023年11月11日（土）12時00分～12時50分

会場：D会場（5F 52～54会議室）

講演名：予防および低侵襲歯科治療におけるナノハイドロキシアパタイトの応用例

演者：Bennett T. Amaechi 先生

（テキサス大学ヘルスサイエンスセンターサンアントニオ校総合歯科部門
う蝕学分野 教授）

演者略歴

1986年 イフェ大学歯学部卒業

1993年 ロンドン大学ガイ病院 補綴学修士取得

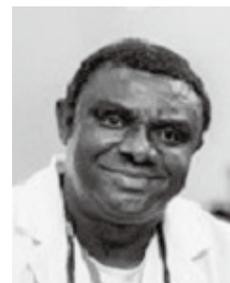
1999年 リバプール大学 う蝕学博士取得

2001年 テキサス大学ヘルスサイエンスセンターサンアントニオ校（UTHSCSA），う蝕学
分野部長

2008年 UTHSCSA，バイオメディカル科学大学院臨床研究修士課程教員

2012年 UTHSCSA，バイオメディカル工学大学院教員

2013年 UTHSCSA，総合歯学部終身教授，歯学修士課程教員
専門分野は補綴学，予防歯科，う蝕学（う蝕管理）



学会等活動

グラスゴー王立医科外科カレッジの歯学部会員（2016年），欧州う蝕研究機構諮問委員会および国際歯科研究学会 IADR などのメンバー。幅広く臨床試験を行い，エロージョンに関する本を含めて，学術論文やレビュー記事，会議録など，執筆多数。受賞したアワードは，UTHSCSA からの優秀メンター賞（2010年），リーダーシップ賞（2010年），教育優秀賞（2015年），学長賞（2019年），地域社会からのコミュニティサービス賞（2015年）およびテキサス州 15 大学からのリージェント優秀教育賞（2022年）。

（協賛：株式会社サンギ）

ランチオンセミナー 4

日時：2023年11月12日（日）12時00分～12時50分

会場：C会場（4F 43・44会議室）

講演名：医療ホワイトニングの概要と知覚過敏への対応

演者：金子 潤 先生
（明海大学保健医療学部口腔保健学科 教授）

演者略歴

1991年 北海道大学歯学部卒業
1995年 北海道大学大学院歯学研究科修了・博士（歯学）
北海道大学歯学部附属病院第一保存科医員
1997年 北海道大学歯学部歯科保存学第一講座助手
2000年 明倫短期大学歯科衛生士学科助教授
2005年 明倫短期大学歯科衛生士学科教授
2007年 明倫短期大学附属歯科診療所所長（兼務）
2013年 千葉県立保健医療大学健康科学部歯科衛生学科准教授
2021年 明海大学保健医療学部口腔保健学科教授



学会等活動

日本歯科保存学会（専門医）、日本歯科審美学会（常任理事，認定医）、日本歯科色彩学会（常任理事，認定医）、美容口腔管理学会（会長，指導医・Diplomate）、日本接着歯学会、日本歯科理工学会、日本歯内療法学会、日本歯科衛生学会、日本歯科衛生教育学会

（協賛：グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケア・ジャパン株式会社）

ランチオンセミナー5

日時：2023年11月12日（日）12時00分～12時50分

会場：D会場（5F 52～54会議室）

講演名：これからの歯科医療を切り拓く新たな治療の選択肢
—医科歯科連携から見てきた咬合制御と再生医療—

演者：清水洋利 先生
(MMクリニック神戸医科歯科医院)

演者略歴

1993年 徳島大学歯学部卒業
1997年 徳島大学大学院歯学研究科博士課程修了 博士（歯学）
徳島大学歯学部附属病院第一保存科
2001年 岡山大学歯学部附属病院第一保存科
2004年 外来医長を経て退職後、医療法人社団グローバル会
2010年 医療法人社団東風会
2021年 MMクリニック神戸医科歯科医院理事長・院長



学会等活動

日本再生歯科医学会（理事・事務局長・準備委員長）、日本抗加齢医学会（認定専門医、第9回学術大会優秀演題選出）、国立健康・栄養研究所認定 栄養情報担当者、栄養情報担当者協会（副理事長・学術ワーキンググループ代表）、日本健康・栄養食品協会認定 食品保健指導士、日本食品安全協会認定 上級健康食品管理士、Q-MED（Sweden）認定 Restylane Master（ヒアルロン酸指導医）、日本統合医療学会（認定医）、日本美容歯科医療協会（理事長）、日本臍帯・プラセンタ学会（理事・倫理審査委員）、日本臨床研究安全評価機構（相談役）、臨床美容再生医療学会
クリニックの個別指導・監査対応マニュアル（共著・日本法令）、歯科医院の法務・税務と経営戦略（共著・日本法令）

（協賛：一般社団法人 臨床美容再生医療学会）

特定非営利活動法人

日本歯科保存学会 2023 年度秋季学術大会（第 159 回）一般発表プログラム

演題の読み方：A は A 会場（1F 大ホール）、B は B 会場（4F 41 会議室）、P はポスター発表（3F 31 会議室）を示し、次の 1～3 桁は演題番号、下 4 桁は講演開始時刻、（ ）内は分野を示します。

（例） A1-0910.（修復） → A 会場，演題番号 1 番，午前 9 時 10 分，修復分野

第 1 日目 11 月 11 日（土） A 会場（1F 大ホール）

9：00～ 9：10 開会の辞……………日本歯科保存学会2023 年度秋季学術大会 大会長 二階堂 徹
 理事長挨拶……………日本歯科保存学会 理事長 林 美加子
 9：10～10：00 研究発表

座長：島田康史（医科歯科大院）

A1-0910. *in vivo* う蝕修復モデルを用いた象牙質の多面的評価法の検討
 （修復） ……………○神田ひかる¹，内藤克昭¹，山本洋子¹，松田康裕²，奥山克史³，林 美加子¹
 （¹阪大院歯・保存，²北医大歯・う蝕制御，³朝日大歯・理工）

A2-0920. 根面う蝕象牙質のう蝕検知液に対する染色性とヌープ硬さ
 （修復） ……………○清水明彦（兵庫医大・歯科口腔外科）

座長：横瀬敏志（明海大歯）

A3-0930. 根面齶蝕の再石灰化に伴うバイオフィルム細菌叢の変化
 （修復） ……………○小浦裕菜¹，富山 潔¹，國松雄一¹，浜田信城²，向井義晴¹
 （¹神歯大・保存修復，²神歯大・口腔細菌）

A4-0940. 柿タンニンによる持続的抗菌効果と口腔内細菌叢の健全化
 （修復） ……………○富山 潔¹，渡辺清子²，浜田信城²，齋藤正寛³，向井義晴¹
 （¹神歯大・保存修復，²神歯大・口腔細菌，³東北大院歯・保存）

A5-0950. 歯根膜線維芽細胞に対するコンポジットレジン of 細胞毒性の検討
 （修復） ……………○椋 由理子¹，工藤保誠²，伊田百美香¹，米倉和秀^{1,4}，中島正俊^{1,3}，保坂啓一^{1,4}
 （¹徳大院・再生歯科，²徳大院・口腔生命科学，³医科歯科大院・う蝕制御，⁴徳大ポスト LED フォトニクス研究所）

10：10～10：50 特別講演 1

11：00～11：40 特別講演 2

12：00～12：50 ランチョンセミナー 1（B 会場にて）

12：00～12：50 ランチョンセミナー 2（C 会場にて）

12：00～12：50 ランチョンセミナー 3（D 会場にて）

13：00～13：50 研究発表

座長：亀山敦史（松歯大）

A6-1300. ユニバーサルアドヒーズの保管条件が象牙質初期接着強さに及ぼす影響
 （修復） ……………○若松賢吾¹，陸田明智^{1,2}，庄司元音¹，林 佳奈¹，高見澤俊樹^{1,2}，宮崎真至^{1,2}，岩崎圭祐³
 （¹日大歯・保存修復，²日大歯総合歯学研究所・生体工学，³岩崎歯科医院）

第1日目 A会場

A7-1310. 新規ワンステップユニバーサルボンドの象牙質接着性と吸水性および機械的強度の評価
(修復) …○松木優承¹, 伊田百美香¹, 井内智貴¹, 内海雄太¹, 米倉和秀^{1,4}, 池田正臣², 中島正俊^{1,3}, 保坂啓一^{1,4}
(¹徳大院・再生歯科, ²医科歯科大院・口腔機能再建工学,
³医科歯科大院・う蝕制御, ⁴徳大ポスト LED フォトニクス研究所)

A8-1320. 新規自己接着性コンポジットレジンの接着性評価
(修復) ……………○清水翔二郎, 高垣智博, 二階堂 徹(朝日大歯・修復)

座長：新海航一(日歯大新潟)

A9-1330. 新規1ステップ接着システムのレジンコーティング法における評価
(修復) ……○高橋礼奈¹, 金森ゆうな², 高野隼輔¹, 品川淳一¹, 湊 洋祐¹, 高橋 基¹, 津田優香¹, 島田康史¹
(¹医科歯科大院・う蝕制御, ²医科歯科大病院・歯科総合診療科)

A10-1340. レジン系材料を用いた直接ならびに CAD/CAM 修復の象牙質窩壁前処理に対する量的質的接着評価
(修復) ……………○杉山怜央, 柵木寿男(日歯大・接着)

14：10～14：40 ポスター発表①(ポスター会場にて)

14：50～16：20 シンポジウム1

16：30～16：50 表彰式

16：50～17：00 次期学術大会紹介

17：00～18：00 認定研修会

17：00～18：00 認定歯科衛生士教育講演(B会場にて)

第1日目 11月11日(土) B会場(4F 41会議室)

9:10~10:00 研究発表

座長：鈴木規元(昭大歯)

- B1-0910. 根管シーラーのぬれ性と流動性が根管封鎖性に及ぼす影響
(歯内)○相上雄亮¹, 清水峻介¹, 浅野明子¹, 武本真治², 野田 守¹
(¹岩医大歯・う蝕, ²岩医大歯・医療工学)
- B2-0920. ヒト抜去歯に充填したレジン系根管充填用シーラーの寸法変化に歯根周囲の湿潤環境が及ぼす影響
(歯内)○古田賢太郎, 三枝慶祐, 関谷美貴, 西田太郎, 前田宗宏, 五十嵐 勝(日歯大・保存)

座長：興地隆史(医科歯科大院)

- B3-0930. *Fusobacterium nucleatum* が宿主免疫細胞の非標準的インフラマソームに与える影響
(歯内)○森田真吉, 大嶋 淳, 阿部翔太郎, 田中伸武, 林 美加子(阪大院歯・保存)
- B4-0940. 歯髄細胞における炎症刺激とミトコンドリア機能との関係
(歯内)○高 裕子¹, 達山祥子¹, 富田和男², 星加知宏¹, 佐藤友昭², 西谷佳浩¹
(¹鹿大院医歯・修復歯内, ²鹿大院医歯・歯科応用薬理)
- B5-0950. ヌカシン耐性に関与する2つのABCトランスポーターの多型性の解明
(その他)○貞岡直樹, 武田克浩, 柴 秀樹(広大院医系科学・歯髄生物)

- 10:10~10:50 特別講演1(A会場にて)
- 11:00~11:40 特別講演2(A会場にて)
- 12:00~12:50 ランチョンセミナー1
- 12:00~12:50 ランチョンセミナー2(C会場にて)
- 12:00~12:50 ランチョンセミナー3(D会場にて)
- 13:00~14:00 研究発表

座長：沼部幸博(日歯大)

- B6-1300. 3次元骨補填材を用いた新規骨再生法の探索
(歯周)○鎌野優弥¹, 原田芙太巴², 八幡祥生², 齋藤正寛²(¹東北大病院・歯内療法科, ²東北大院歯・保存)
- B7-1310. 2-メタクリロイルオキシエチルホスホリルコリン(MPC)ポリマーのチタン材料表面への
(歯周) インプラント周囲炎原因菌の付着抑制効果
.....○秋月皆人, 板東美香, 稲垣裕司, 湯本浩通(徳大院・歯周歯内)
- B8-1320. CPC製品使用後の口腔内におけるCPCの経時的濃度変化
(歯周)○國井理恵子, 川本千春, 矢後亮太郎, 兼子裕史, 遠山晏梨, 松尾友太, 弥勒院択良,
ヤマウチ モニカ, 佐野英彦, 友清 淳(北大院歯・修復・歯内)

座長：三谷章雄(愛院大歯)

- B9-1330. TNF- α で刺激されたヒト歯根膜由来細胞の炎症性メディエーター発現に対するcardamoninの影響
(歯周)○岡本梨沙¹, 細川義隆¹, 細川育子¹, 下山真弘¹, 尾崎和美², 保坂啓一¹
(¹徳大院・再生歯科, ²徳大院・口腔保健支援)

第1日目 B会場

B10-1340. SPOCK1 はシクロスポリンによる薬物性歯肉増殖症において歯周炎症を介した

(歯周) 歯肉肥厚と歯槽骨吸収を増大する

.....○今川 滢, 新城尊徳, 佐藤晃平, 川上賢太郎, 瀬々起朗, 西村優輝,
岩下未咲, 山下明子, 西村英紀 (九大院歯・口腔機能 (歯周))

B11-1350. Cadherin-2 はヒト歯根膜細胞の幹細胞転換に関与する

(歯周)

○長谷川大学¹, 田下滉大², Kidsen Huang², 兼子大志¹, 前田英史^{1,2}
(¹九大病院・歯内治療科, ²九大院歯・口腔機能 (歯科保存))

14:10~14:40 ポスター発表① (ポスター会場にて)

14:50~16:20 シンポジウム1 (A会場にて)

16:30~16:50 表彰式 (A会場にて)

16:50~17:00 次期学術大会紹介 (A会場にて)

17:00~18:00 認定研修会 (A会場にて)

17:00~18:00 認定歯科衛生士教育講演

第2日目 11月12日(日) A会場(1F 大ホール)

9:00~9:50 研究発表

座長:五十嵐 勝(日歯大)

- A11-0900. 自己免疫疾患の歯髄炎および根尖性歯周炎の病理学的研究—IgA腎症モデルマウスを用いた解析—
 (歯内)○林 玲緒奈, 山崎詩織, 糸永和広, 武藤徳子, 石井信之(神歯大・歯内)
- A12-0910. 自己免疫疾患における歯髄および根尖歯周組織疾患の病理組織学的研究
 (歯内) —関節リウマチモデルマウスを用いた解析—
○山崎詩織, 林 玲緒奈, 糸永和広, 武藤徳子, 石井信之(神歯大・歯内)

座長:石井信之(神歯大)

- A13-0920. 新規動物モデルを用いた炎症性腸疾患の影響を受ける根尖性歯周炎増悪化病態の調査
 (歯内)○中野将人, 八幡祥生, 齋藤正寛(東北大院歯・保存)
- A14-0930. S1PR1受容体を介したマウス歯乳頭由来幹細胞の象牙芽細胞分化と石灰化
 (歯内)○廣瀬陽菜¹, 藤政清志朗¹, 金丸慎吾¹, 松本典祥¹, 高原信太郎²,
 大倉直人², 枝並直樹², 野杵由一郎², 松崎英津子^{1,3}
 (福歯大・修復・歯内, ²新大院医歯・う蝕, ³福歯大・口腔医学研究センター)
- A15-0940. 再生歯内療法後の治癒過程初期における各種間葉系幹細胞マーカー陽性細胞の局在性
 (歯内)○高原信太郎¹, 大倉直人¹, 吉羽永子¹, 竹中彰治¹, 枝並直樹¹, 吉羽邦彦², 野杵由一郎¹
 (新大院医歯・う蝕, ²新大院医歯・口腔保健)

- 10:00~11:50 シンポジウム2
- 10:00~11:30 歯科衛生士シンポジウム(B会場にて)
- 12:00~13:00 編集連絡委員会(B会場にて)
- 12:00~12:50 ランチョンセミナー4(C会場にて)
- 12:00~12:50 ランチョンセミナー5(D会場にて)
- 13:15~13:45 ポスター発表②(ポスター会場にて)
- 14:00~15:30 シンポジウム3
- 15:30 閉会式

第2日目 B会場

第2日目 11月12日(日) B会場(4F 41会議室)

9:00~9:50 研究発表

座長：向井義晴(神歯大)

B12-0900. S-PRG フィラー含有3Dプリント樹脂のイオン放出量とその物性評価について

(修復)○辻 悠貴子¹, 平石典子¹, 池田正臣², 宇尾基弘³, 二階堂 徹⁴, 島田康史¹
(¹医科歯科大院・う蝕制御, ²医科歯科大院・口腔医療工学,
³医科歯科大院・先端材料評価学, ⁴朝日大歯・修復)

B13-0910. 新規低重合収縮レジンコアシステムに対するSS-OCTを用いた接着界面解析と根管象牙質への

(修復) 接着性能評価
.....○畑山貴志¹, 田端倫子¹, 木部航太¹, 池田正臣², 角 保徳¹, 島田康史¹
(¹医科歯科大院・う蝕制御, ²医科歯科大院・口腔医療工学)

B14-0920. SS-OCT イメージングによるエナメル質窩洞に対するセルフエッチングシステム接着処理の

(修復) ダイナミクス解析
.....○高木仲人^{1,2}, 米倉和秀^{1,3}, 中島正俊¹, 加藤 遼³, 矢野隆章³, 島田康史², 保坂啓一^{1,3}
(¹徳大院・再生歯科, ²医科歯科大院・う蝕制御, ³徳大ポストLEDフォトンクス研究所)

座長：富士谷盛興(愛院大歯)

B15-0930. コンポジットレジン修復の長期臨床経過

(修復)○秋本尚武^{1,2} (¹秋本歯科診療所, ²鶴大歯・保存修復)

B16-0940. 重度歯周病患者の口腔機能回復治療として直接法コンポジットレジン修復で対応し3年経過した1症例

(修復)○田代浩史^{1,4}, 保坂啓一², 田上順次³, 畑山貴志⁴, 島田康史⁴
(¹田代歯科医院, ²徳大院・再生歯科, ³クオーツデンタルクリニック, ⁴医科歯科大院・う蝕制御)

10:00~11:50 シンポジウム2(A会場にて)

10:00~11:30 歯科衛生士シンポジウム

12:00~13:00 編集連絡委員会

12:00~12:50 ランチョンセミナー4(C会場にて)

12:00~12:50 ランチョンセミナー5(D会場にて)

13:15~13:45 ポスター発表②(ポスター会場にて)

14:00~15:30 シンポジウム3(A会場にて)

15:30 閉会式(A会場にて)

第1・2日目 ポスター発表

ポスター会場 (3F 31 会議室)

11月11日 (土)

8:30~9:30 ポスター準備

9:30~14:10 ポスター掲示

14:10~14:40 ポスター発表① (専門医/認定医優秀症例発表賞選考対象演題, 優秀発表賞選考対象演題および奇数演題)

14:40~17:00 ポスター掲示

11月12日 (日)

9:00~13:15 ポスター掲示

13:15~13:45 ポスター発表② (偶数演題)

13:45~15:00 ポスター掲示

15:00~16:00 ポスター撤去

各賞選考対象演題

○優秀発表賞 (8題)

P41, 52, 53 (研究領域A: バイオマテリアル)

P40, 83, 85 (研究領域B: バイオロジー)

P80, 94 (研究領域C: 診断・教育・疫学・その他)

★認定医優秀症例発表賞 (4題) P71, 73~75

☆専門医優秀症例発表賞 (2題) P67, 100

P1. Bioactive ボンドのう蝕象牙質に対する接着性の評価

(修復)○佐藤幸平¹, 藤田裕介², 油井知雄³, 古市保志¹, 伊藤修一⁴
(¹北医大歯・歯周歯内, ²北医大歯・小児歯科, ³北医大歯・う蝕制御, ⁴北医大歯・高度先進保存)

P2. エアブローの強さが新規接着材の象牙質せん断接着強さに与える影響

(修復)○星加知宏, 西谷佳浩 (鹿大院歯・修復歯内)

P3. エッチングモードの違いが新規ユニバーサルアドヒーズの歯質接着性に及ぼす影響

(修復)○須田駿一¹, 横山宗典¹, 田村友彦¹, 武藤 玲¹, 高見澤俊樹^{1,2}, 宮崎真至^{1,2}, 近藤 貢³
(¹日大歯・保存修復, ²日大歯総合歯学研究所・生体工学, ³近藤歯科医院)

P4. ユニバーサルアドヒーズシステムの保管条件がエナメル質初期接着強さに及ぼす影響

(修復)○林 佳奈¹, 陸田明智^{1,2}, 若松賢吾¹, 庄司元音¹, 高見澤俊樹^{1,2}, 宮崎真至^{1,2}, 川本 諒³
(¹日大歯・保存修復, ²日大歯総合歯学研究所・生体工学, ³川本歯科医院)

P5. 新規化学重合型ユニバーサルアドヒーズのCAD/CAM用歯冠修復材料への接着耐久性

(修復)○大内 元¹, 高見澤俊樹^{1,2}, 田村友彦¹, 横山宗典¹, 宮崎真至^{1,2}, 佐藤幹武³
(¹日大歯・保存修復, ²日大歯総合歯学研究所・生体工学, ³佐藤歯科)

P6. メタルプライマーとユニバーサルアドヒーズの併用が金合金に対する初期接着強さに及ぼす影響

(修復)○大鹿水由季¹, 友田篤臣¹, 前迫真由美¹, 小田切ゆかり¹, 富士谷盛興¹, 辻本暁正^{1,2,3}
(¹愛院大歯・保存修復, ²アイオワ大歯・保存修復, ³クレイトン大歯・総合歯科)

第1・2日目 ポスター会場

- P7. Time-dependent microtensile bond strength of a silane coupling agent incorporated one-bottle adhesive on
(修復) feldspathic porcelain
.....○ Ker-Kong Chen
(Division of Conservative Dentistry, Kaohsiung Medical University Hospital
and Kaohsiung Medical University, Taiwan)
- P8. 新規ユニバーサル処理材のモダンセラミックスへの接着強さの検討
(修復)○入江正郎¹, 岡田正弘¹, 矢部 淳², 武田宏明², 山本直史², 松本卓也¹
(¹岡大院医歯薬・生体材料, ²岡大院医歯薬・総合歯科)
- P9. 新規ユニバーサルタイプセルフアドヒーズレジンセメントを用いたレジブロックおよび
(修復) ガラスセラミックスに対する接着性能評価
.....○原 大輔, 山本健蔵, 信野和也, 吉本龍一 ((株) 松風・研究開発部)
- P10. レジンセメント接着におけるレジンコーティングが辺縁漏洩に及ぼす影響について
(修復)○井内有人¹, 大原直子¹, 松崎久美子¹, 吉山昌宏^{1,2} (¹岡大院医歯薬・保存修復, ²大塚歯科医院)
- P11. 新規レジンコーティング材の象牙質接着および血液汚染への影響
(修復)○岡本千昭, 清水翔二郎, 高垣智博, 二階堂 徹 (朝日大歯・修復)
- P12. Inside Out : Unraveling the Stain Resistance of New Universal Resin Cement
(修復)○ Yusuke Yamada, Yoshihisa Kamimoto (R&D Department, Sun Medical Co., Ltd.)
- P13. CAD/CAM インレーの表面滑沢材を用いたコーティングによるレジンセメントの保護
(修復)○中野貴文¹, 加藤喬大¹, 菱川暁弘² (YAMAKIN (株), ²明海大歯・総合臨床歯科)
- P14. Evaluation of physical properties of self-adhesive resin composites
(修復)○ Ye YAO¹, Di WU¹, Chiharu KAWAMOTO², Takatsumi IKEDA², Shuhei HOSHIKA²,
Hidehiko SANO², Monica YAMAUTI², Atsushi TOMOKIYO^{1,2}
(¹Department of Restorative Dentistry, Graduate School of Dental Medicine, Hokkaido University,
²Department of Restorative Dentistry, Faculty of Dental Medicine, Hokkaido University)
- P15. 新規バルクフィル型コンポジットレジン「OCFB-001」の機械的性質
(修復)○松尾拓馬, 町田有希, 大矢直之, 森崎 宏, 秋積宏伸 ((株) トクヤマデンタル)
- P16. 「バルクベースハード II」の硬化深さに対するビッカース硬さの評価
(修復)○清水考朗, 八尾 勉, 上木秀幸 (サンメディカル (株))
- P17. 「バルクベースハード II」の光照射条件による硬化性評価
(修復)○八尾 勉, 清水考朗, 上木秀幸 (サンメディカル (株))
- P18. 動揺歯固定材料の耐摩耗性評価
(修復)○山下美樹, 平野恭佑, 篠崎 裕 ((株) ジーシー)
- P19. ケアダイレストアのフッ化物・亜鉛イオン徐放に伴う圧縮強さの変化
(修復)○志田円造, 町田大樹, 篠崎 裕 ((株) ジーシー)
- P20. 乾式および湿式の密度測定法を用いたユニバーサルフロアブルレジンの重合収縮率の検討
(修復)○前迫真由美¹, 長谷川 彩¹, 松井 渚¹, 辻本暁正^{1,2,3}
(¹愛院大歯・保存修復, ²アイオワ大歯・保存修復, ³クレイトン大歯・総合歯科)
- P21. 新規接着性フロアブルコンポジットレジン材料の辺縁封鎖性評価
(修復)○矢部 淳^{1,2}, 入江正郎², 岡田正弘², 武田宏明¹, 山本直史¹, 松本卓也²
(¹岡大病院・総合歯科, ²岡大院医歯薬・生体材料)
- P22. ユニバーサルシェードコンポジットレジンの透明度とウシ歯の人工的変色根への色彩の適合性
(修復)○宮野侑子, 鈴木雅也, 新海航一 (日歯大新潟・保存II)

- P23. 新規ユニバーサルシェードレジンの色調適合性の評価
 (修復)○兼子裕史, 川本千春, 戸井田 侑, 呉 迪, 矢後亮太郎, 袁 媛, 遠山晏梨, 國井理恵子, 松尾友太, 弥勒院沢良, ヤマウチ モニカ, 佐野英彦, 友清 淳 (北大院歯・修復・歯内)
- P24. ユニバーサルシェード型コンポジットレジンの重合前後における光学特性
 (修復)○水田悠介, 加藤喬大 (YAMAKIN (株))
- P25. パテタイプシンプルシェードコンポジットレジンの耐着色性評価
 (修復)○向 映紀, 荻谷周司, 篠崎 裕 ((株) ジーシー)
- P26. アローマインジェクションにおける引き抜き抵抗力および摩擦特性の評価
 (修復)○平野 歩, 立野敦史, 篠崎 裕 ((株) ジーシー)
- P27. 新規パルス幅を用いた Er:YAG レーザーにおける研究: 照射条件と歯質の切削性の関係
 (修復)○保尾謙三, 森川裕仁, 岩田有弘, 岩佐一弘, 廣田陽平, 初岡昌憲, 吉川一志, 山本一世
 (大歯大・保存)
- P28. SIMROID を用いた病院実習生への学習効果
 (修復)○土屋隆子, 西田伊織, 市村 葉, 横瀬敏志 (明海大歯・保存治療)
- P29. バーチャルリアリティデンタルトレーナー (Simodont®) を用いた外国人歯学生に対するアンケート調査
 (修復)○石樽大嗣^{1,2}, 伊藤里帆², 岡村晨吾², 小川雅之¹, 日下部修介², 堀田正人¹, 二階堂 徹²
 (朝日大 PDI 岐阜歯科診療所, ²朝日大歯・修復)
- P30. 矯正歯科治療後, デジタルワークフローを活用したコンポジットレジンインジェクションテクニック
 (修復) により犬歯誘導を獲得した1症例
○内海雄太¹, 松木優承¹, 渡邊佳一郎², 川野沙織¹, 井内智貴¹, 大毛健一郎¹, 伊田百美香¹, 米倉和秀^{1,3}, 保坂啓一^{1,3}
 (徳大院・再生歯科, ²徳大院・口腔顎顔面矯正, ³徳大ポスト LED フォトニクス研究所)
- P31. 上顎両側中切歯歯冠修復物の審美的不満に対し保存的なブラケットライアングル閉鎖により
 (修復) 改善を認めた1症例
○佐藤莉沙子¹, 竹中彰治², 野杵由一郎² (¹新大医歯病院・歯の診療科, ²新大院医歯・う蝕)
- P32. 初期活動性根面う蝕患者におけるケアダイン ZIF-C のバイオフィルム抑制効果に関する臨床評価
 (修復)○朝日陽子¹, 内藤克昭¹, 神田ひかる¹, 庭野和明², 武川大輔³, 湯本浩通⁴, 野杵由一郎², 林 美加子¹
 (阪大院歯・保存, ²新大院医歯・う蝕, ³徳大院・再生歯科, ⁴徳大院・歯周歯内)
- P33. Biphasic Calcium Phosphate Cement 配合接着性根管充填用シーラーの開発
 (歯内)○小嶋康世¹, 藤田 (中島) 光², 河野哲朗³, 石川 豊¹, 成田興治², 庫川幸利², 神谷直孝², 内山敏一², 平山聡司² (¹日大院松戸歯・歯学, ²日大松戸歯・保存修復, ³日大松戸歯・組織学)
- P34. (取り下げ)
- P35. 試作根管充填用コンデンサーによるレジン系根管充填用シーラー・メタシール Soft ペーストを用いた
 (歯内) 新規根管充填法の開発
○正覺泰佑¹, 清水康平^{1,2}, 鈴木裕介^{1,2}, 勝呂 尚^{1,2}, 武市 取^{1,2}
 (日大歯・歯内療法, ²日大歯総合歯学研究所・高度先端医療)
- P36. 新規歯科用充填器「エンドノズル #30 (オレンジ)」を用いたメタシール Soft ペーストの移送性について
 (歯内)○住田流香¹, 大槻晴夏¹, 小里達也¹, 小嶋康世², 平山聡司²
 (サンメディカル (株)・研究開発部, ²日大松戸歯・保存修復)
- P37. Bioactive glass 配合レジンを用いた光造形 3D プリンター造形物の造形精度と化学的特性
 (歯内)○森 涼^{1,2}, 鷲尾絢子¹, 池田 弘², 永松有紀², 北村知昭¹ (¹九歯大・保存, ²九歯大・生体材料)

第1・2日目 ポスター会場

- P38. Elemental analysis and *in vivo* pulpal response of a newly developed direct pulp capping materials
(歯内)○Md Refat Readul Islam¹, Rafiqul Islam¹, Yunqing Liu¹, Qibuer¹, Jiayuan Zhang¹, Yasuhiro Yoshida², Yu Toida¹, Hany Mohamed Aly Ahmed³, Hidehiko Sano¹, Atsushi Tomokiyo¹
(¹Department of Restorative Dentistry, Faculty of Dental Medicine, Hokkaido University, ²Department of Biomaterials and Bioengineering, Faculty of Dental Medicine, Hokkaido University, ³Department of Restorative Dentistry, Faculty of Dentistry, Universiti Malaya, Kuala Lumpur, Malaysia)
- P39. 生体活性・生体吸収性セラミックスの特徴を持つバイオセラミックス複合粒子の作製と評価
(歯内)○村田一将¹, 鷺尾絢子¹, 池田 弘², 北村知昭¹ (¹九歯大・保存, ²九歯大・生体材料)
- P40. ⑥ 歯根形成時における Tissue nonspecific alkaline phosphatase の機能解析
(歯内)○大倉直人^{1,3}, 吉羽永子¹, 高原信太郎¹, Rosa Edith Baldeon Gutierrez¹, Susan Gomez-Kasimoto¹, 井田貴子¹, 枝並直樹¹, 竹中彰治¹, 吉羽邦彦², 野杻由一郎¹
(¹新大院医歯・う蝕, ²新大院医歯・口腔保健, ³ミシガン大歯・小児矯正)
- P41. ④ カーボンナノチューブのセメント芽細胞に対する石灰化誘導能に関する研究
(歯内)○王 琨萱¹, 渡邊清子², 室町幸一郎¹, 浜田信城³, 石井信之¹
(¹神歯大・歯内, ²神歯大・教養教育, ³神歯大・口腔細菌)
- P42. ラット臼歯歯髄への MO 貼付に伴う視床における *Sostdc1* mRNA 発現の低下
(歯内)○岡田大和¹, 川島伸之¹, 野田園子¹, Nyein Chan Ko¹, 村野浩気², 砂川光宏³, 興地隆史¹
(¹医科歯科大院・歯髄生物, ²神歯大・歯内, ³医科歯科大院・総合診療歯科学)
- P43. ビタミン D 受容体は歯髄 subodontoblastic layer の細胞に局在する
(歯内)○佐藤幸平¹, 伊藤修一², 細矢明宏³, 古市保志¹
(¹北医大歯・歯周歯内, ²北医大歯・高度先進保存, ³北医大歯・組織)
- P44. 歯髄血管再生療法 (pulp revascularization) の治癒過程における *Axin2* 発現細胞の局在と硬組織形成への関与
(歯内)○田代憲太郎, 五十嵐章智, 三友啓介, 村松 敬 (東歯大・修復)
- P45. ラット骨髄細胞培養における石灰化結節形成に対するビタミン添加の効果
(歯内)○仲間ひとみ, 好川正孝, 松尾 望, 前田博史 (大歯大・口腔治療)
- P46. ヒト歯髄培養細胞における FXa の炎症作用の検索
(歯内)○中西建人¹, 岡部 達^{1,2}, 神尾直人^{1,2}, 葉山朋美^{1,2}, 深井譲滋^{1,2}, 渡邊昂洋^{1,2}, 倉持光成¹, 古谷夏子¹, 松島 潔¹ (¹日大松戸歯・歯内, ²日大口腔科学研究所)
- P47. ヒト歯髄幹細胞に対するプレミックスカルシウムシリケート系材料の生体親和性および石灰化促進効果
(歯内)○Nyein Chan Ko, 野田園子, 岡田大和, 田澤健人, 川島伸之, 興地隆史 (医科歯科大院・歯髄生物)
- P48. ラット歯根未完成歯の抜髄群とリバスクラリゼーション群の組織学的観察—第3報—
(歯内)○湊 華絵¹, 鎗田将史², 新井恭子¹, 佐藤友則¹, 両角俊哉^{1,2}, 北島佳代子^{1,2}
(¹日歯大新潟・保存 I, ²日歯大院新潟・硬組織機能治療)
- P49. Lipopolysaccharide 存在下で高 pH 環境誘導歯科材料がブタ *Malassez* 上皮遺残細胞に与える効果
(歯内)○関矢日向子¹, 和田優希¹, 倉持 仁¹, 岩澤弘樹¹, 石東 (鈴木) 穂¹, 原田 (中里) 晴香¹, 佐古 亮¹, 浅井知宏², 古澤成博¹ (¹東歯大・歯内, ²丸紅東京診療所・歯科)
- P50. ヒト歯根膜線維芽細胞のセメント芽細胞様細胞分化に対する Bone Morphogenetic Protein 7 の影響
(歯内)○岩澤弘樹¹, 中島 啓², 佐古 亮¹, 田宮資己¹, 原田 (中里) 晴香¹, 石東 (鈴木) 穂¹, 古澤成博¹, 松坂賢一² (¹東歯大・歯内, ²東歯大・病理)
- P51. CGRP は MafB および Bcl6 の発現上昇を介して破骨細胞分化を抑制する
(歯内)○石塚恭子, 池田やよい (愛院大歯・解剖)

- P52. ④ フィブリンゲルによって変化する骨欠損部位の組織再生
 (歯内)○相原良亮¹, 鷲尾絢子¹, 田畑泰彦², 北村知昭¹ (¹九歯大・保存, ²京大医生物学研究所・生体材料)
- P53. ④ Antibacterial activity of chitosan nanoparticles and trimethyl chitosan on *Enterococcus faecalis* biofilm
 (歯内)○Raras Ajeng Enggardipta, Minato Akizuki, Hiromichi Yumoto
 (Department of Periodontology and Endodontology,
 Tokushima University Graduate School of Oral Sciences)
- P54. 各種歯科材料に対して30%過酸化水素水を作用させた際に生じる活性酸素の挙動変化
 (歯内)○小峯千明¹, 小倉由希¹, 小西賀美¹, 中澤弘貴², 高橋知多香², 辻本恭久²
 (¹日大松戸歯・有病者歯科検査医学, ²日大松戸歯・歯内)
- P55. ナノバブルオゾン水の根管清掃薬としての殺菌効果
 (歯内)○藤田将典¹, 安齋 聡², 樋口直也¹, 井上麻衣¹, 奥田沙映¹, 堀場直樹¹, 諸富孝彦¹
 (¹愛院大歯・歯内治療, ²(株)安齋管鉄)
- P56. 励起蛍光を有する感染根管歯質と硬さの関係
 (歯内)○柴野周哉¹, 伊佐津克彦¹, 長谷川篤司², マイヤース三恵¹
 (¹昭大歯・医科歯科連携診療歯科学, ²昭大歯・保存・総合診療)
- P57. 水酸化カルシウム製剤の除去性の検討
 (歯内)○三谷将弘, 篠崎 裕 ((株)ジーシー・研究所)
- P58. 各種水酸化カルシウム材の除去性の比較
 (歯内)○Phu Yadanar Aung Myint, 渡辺 聡, 川村拓也, 名取健太郎, 高野 晃, 興地隆史
 (医科歯科大院・歯髄生物)
- P59. ケイ酸カルシウム系逆根管充填材のヒト歯根膜由来細胞における細胞親和性の検討
 (歯内)○松裏貴史, 上田明日香, 吉村篤利 (長大院医歯薬・歯周歯内)
- P60. ラットう蝕由来可逆性歯髄炎モデルを用いたレジン成分含有ケイ酸カルシウムセメントの評価
 (歯内)○松本紗也子¹, 岡本基岐², 黄 海玲¹, 森山輝一¹, 中谷公貴¹, 渡邊昌克¹, 高橋雄介¹, 林 美加子¹
 (¹阪大院歯・保存, ²ノバ・サウスイースタン大歯・口腔科学)
- P61. ケイ酸カルシウムを基盤とした新規覆髄材の開発 2) ケイ酸カルシウムの合成
 (歯内)○伊藤友見¹, 新谷耕平², 笹本法寛², 奥山克史², 玉置幸道², 河野 哲¹
 (¹朝日大歯・歯内, ²朝日大歯・理工)
- P62. 最新の ProTaper システムを用いた湾曲根管形成における根管壁変位量の評価
 (歯内)○関谷美貴¹, 中山竣太郎², 村山文康¹, 古田賢太郎¹, 犬山依志行¹, 林 美澄¹,
 北村和夫², 五十嵐 勝¹ (¹日歯大・保存, ²日歯大・総合診療)
- P63. 歯学部生によるニッケルチタンロータリーファイルを用いた根管形成の評価
 (歯内)○木方一貴¹, 宮本侑果², 横川大輔¹, 田中雅士¹, 長谷川智哉¹, 赤堀裕樹¹, 堺 ちなみ¹,
 加藤友也¹, 山崎真帆¹, 瀧谷佳晃¹, 河野 哲¹ (¹朝日大歯・歯内, ²朝日大歯・口腔病理)
- P64. 最新の ProTaper システムを用いた湾曲根管形成における根管形成時間の評価
 (歯内)○中山竣太郎¹, 関谷美貴², 村山文康², 古田賢太郎², 犬山依志行², 林 美澄²,
 北村和夫¹, 五十嵐 勝² (¹日歯大・総合診療, ²日歯大・保存)
- P65. Ni-Ti ファイルの疲労破折に対する回転様式の有効性
 (歯内)○藤巻龍治, 鈴木二郎, 石井信之 (神歯大・歯内)
- P66. 生活歯髄を有する歯内歯の陥入部位に歯内治療を実施した2症例
 (歯内)○西藤-中山法子, 宮田彩加, 平田-土屋志津, 武田克浩, 柴 秀樹 (広大院医系科学・歯髄生物)

第1・2日目 ポスター会場

- P67. ☆ 水酸化カルシウム製剤で Regenerative Endodontic Treatment を行った 1 症例
(歯内)○浅井知宏¹, 山田雅司², 田中亜生³, 佐古 亮², 鈴木 穂², 中里晴香², 藤井理絵², 土倉 康¹, 新谷誠康³, 古澤成博² (¹丸紅東京診療所・歯科, ²東歯大・歯内, ³東歯大・小児歯科)
- P68. 上顎両側側切歯の歯根未完成歯内歯 (Oehler II 型と IIIa 型) の治療経過からの一考察
(歯内)○三枝慶祐^{1,2}, 古田賢太郎¹, 村山文康¹, 犬山依志行¹, 林 美澄¹, 中山竣太郎², 小林 鷹², 横須賀孝史^{3,4}, 五十嵐 勝¹
(¹日歯大・保存, ²日歯大・総合診療, ³日歯大新潟・総合診療, ⁴横須賀歯科医院)
- P69. 生活歯髄切断法による歯髄保存の試み: Izumi の基準を考慮した全部断髄の病理組織学的解析を行った一症例報告と評価
(歯内)○鷺野 崇^{1,2}, 宮本侑果³, 長谷川智哉⁴, 泉 英之⁵, 二階堂 徹¹, 永山元彦³
(¹朝日大歯・修復, ²わしの歯科クリニック, ³朝日大歯・口腔病理, ⁴朝日大歯・歯内, ⁵泉歯科医院)
- P70. 根未完成下顎小白歯に対し再生歯内療法を行った症例の病理組織学的解析
(歯内)○小山光那¹, 大森一弘², 佐光秀文³, 伊東有希², 高柴正悟²
(¹岡大院医歯薬, ²岡大学術研究院医歯薬・歯周病態, ³まるも歯科医院)
- P71. ★ 下顎大白歯遠心舌側根の穿通・拡大・充填の臨床的ポイントと文献的考察
(歯内)○石崎秀隆^{1,2}, 吉村篤利² (¹きうち歯科医院, ²長大院医歯薬・歯周歯内)
- P72. コーンビーム CT 画像における槌状根の観察
(歯内)○加藤友也, 木方一貴, 長谷川智哉, 田中雅士, 赤堀裕樹, 堺 ちなみ, 瀧谷佳晃, 河野 哲
(朝日大歯・歯内)
- P73. ★ 歯根長の 2/3 以上のメタルコアを有する歯に対し, 感染根管治療で対応し症状の改善を認めた 1 症例
(歯内)○中島 龍, 浅井知宏, 山田雅司, 佐古 亮, 田宮資己, 古澤成博 (東歯大・歯内)
- P74. ★ 滲出液の抑制困難な歯根嚢胞に根管充填前外科的歯内療法を行った一例
(歯内)○牧 圭一郎¹, 黒嶋雄志², 岡田大和¹, 興地隆史¹
(¹医科歯科大院・歯髓生物, ²医科歯科大院・顎口腔腫瘍外科)
- P75. ★ 下顎管に近接した根尖病変を非外科的歯内療法で治癒に導いた一症例
(歯内)○古澤誉彰¹, 中島克真¹, 北島彩花¹, 高橋玲子¹, 浅井知宏², 古澤成博¹
(¹東歯大・歯内, ²丸紅東京診療所・歯科)
- P76. 根尖性歯周炎における歯髄再生治療を成功へ導く細菌検出法および移植時基準の検討
(歯内)○庵原耕一郎¹, 冨永三千代¹, 中島美砂子^{1,2}
(¹長寿医療研究センター・再生歯科医療研究室, ²RD 歯科クリニック)
- P77. 広範囲な外部吸収を伴う外傷歯に対して根管治療と外科的処置を併用した一症例
(歯内)○田宮資己, 井瀬智之, 倉持 仁, 谷 洗希, 古澤誉彰, 山田雅司, 古澤成博 (東歯大・歯内)
- P78. 歯内治療後に発症する異常疼痛, とくに神経障害性疼痛への新規治療法の確立
(歯内)○清水康平^{1,2}, 安川拓也^{1,2}, 宮田泰伎¹, 林 誠^{1,2}, 武市 収^{1,2}
(¹日歯大・歯内療法, ²日歯大総合歯学研究所・高度先端医療)
- P79. 東京歯科大学歯内療法学講座における歯根端切除術の術後経過とデンタルエックス線画像, 病理組織像との関連
(歯内)○番場桃子¹, 佐古 亮¹, 岩澤弘樹¹, 江川加奈¹, 高原千枝¹, 和田優希¹, 明石良彦², 松坂賢一², 古澤成博¹ (¹東歯大・歯内, ²東歯大・病理)
- P80. © AI を応用したパノラマエックス線検査における根尖性歯周炎の画像診断支援
(歯内)○柴田直樹¹, 稲本京子¹, 井上麻衣¹, 鶴飼 学¹, 奥田沙映¹, 樋口直也¹, 今泉一郎¹, 木瀬祥貴², 有地榮一郎², 諸富孝彦¹ (¹愛院大歯・歯内治療, ²愛院大歯・歯科放射線)

- P81. Artificial Intelligence を応用した歯内療法関連問題作成システムの有用性
 (歯内)○附田孝仁¹, 武藤徳子¹, 山口徹太郎², 副田義樹³, 石井信之¹
 (1¹神歯大・歯内, 2²神歯大・矯正, 3³(株)・エディアンド)
- P82. Bioactive glass 配合セメント「ニシカキヤナルシーラー BG multi」を用いた
 (歯内) 覆髄・断髄・穿孔部封鎖・逆根管充填症例の調査
○鷺尾絢子¹, 吉岡隆知², 須藤 享³, 田中利典⁴, 末松美希¹, 御手洗直幸¹, 北村知昭¹
 (1¹九歯大・保存, 2²吉岡デンタルオフィス, 3³南光台歯科医院, 4⁴川勝歯科医院)
- P83. ⑥ NF-κB 非古典経路の阻害は歯周組織の炎症と骨吸収を抑制する
 (歯周)○青木 司¹, 自見英治郎^{2,3}, 西村英紀¹
 (1¹九大院歯・口腔機能(歯周), 2²九大院歯・口腔細胞工学, 3³九大院歯・OBT 研究センター)
- P84. アリルイソチオシアネートは歯周炎マウスモデルにおいて歯槽骨吸収を抑制する
 (歯周)○湊 裕佳子¹, 野中由香莉¹, 日吉 巧^{1,2}, 松岸 葵¹, Hnin Yu Lwin¹, 安藤大樹¹, 割田悠子¹,
 多部田康一¹ (1¹新大院医歯・歯周, 2²新大院医歯・高度口腔機能教育研究センター)
- P85. ⑥ スクレロスチン欠損は BMP-2 誘導性異所性骨の石灰化を促進させる
 (歯周)○中村圭吾¹, 石原裕一², 亀山敦史¹, 吉成伸夫¹ (1¹松歯大・保存, 2²(公財)ライオン歯科衛生研究所)
- P86. 歯周病の進行過程における CCL2 の時空間的発現の変化
 (歯周)○藤原千春, 村上伸也 (阪大院歯・治療)
- P87. 歯周病の病態形成過程における AnnexinA1-FPR2 シグナルの炎症制御機能の解明
 (歯周)○村田真里^{1,2}, 竹立匡秀², 川崎公輔², 森本千晶², 河上和馬², 杉本 彩², 沢田啓吾²,
 岩山智明², 村上伸也² (1¹阪大病院・総合歯科, 2²阪大院歯・治療)
- P88. IGFBP3 は歯胚発生と歯周組織のリモデリングに関与する
 (歯周)○王 恕心¹, 御手洗裕美², 冉 子晴¹, 祐田明香², 孫 偉浩¹, 原口 晃², 前田英史³, 和田尚久¹
 (1¹九大院歯・総合診療, 2²九大院歯・口腔総合診療科, 3³九大院歯・口腔機能(歯科保存))
- P89. 細胞内必須アミノ酸欠乏によるヒト歯肉組織の恒常性とオートファジーに及ぼす影響
 (歯周)○吉村公博, 嘉藤弘仁, 田口洋一郎, 塩見 慧, 中田貴也, 高橋貫之, 梅田 誠 (大歯大・歯周病)
- P90. ヒト歯肉上皮細胞の Interleukin-8 産生に対する tumor necrosis factor-α の影響
 (歯周)○Zheng Feng, 井上 博, 合田征司 (大歯大・生理)
- P91. ヒト歯肉由来線維芽細胞の TIMP-1 産生に対する PDGF-bb の影響
 (歯周)○森崎 歩, 井上 博, 合田征司 (大歯大・生理)
- P92. ヒト歯根膜細胞の高グルコース状態培養下における miR-146a の関与と炎症性サイトカインの発現
 (歯周)○文元智優, 田口洋一郎, 李 潤伯, 嘉藤弘仁, 山脇 勲, 東 仁, 今井一貴, 梅田 誠
 (大歯大・歯周病)
- P93. 歯周基本治療による血糖・炎症・唾液マーカーの変化
 (歯周)○両角俊哉^{1,2}, 杉山貴志^{2,3}, 平田貴久², 青山典生², 新井恭子¹, 佐藤友則¹, 小牧基浩²
 (1¹日歯大新潟・保存 I, 2²神歯大・歯周, 3³大船駅北口歯科)
- P94. ⑥ 歯周炎症が血糖値の日内変動に及ぼす影響
 (歯周) ーマウス歯周炎モデルにおける持続自己血糖測定器を用いた解析ー
○久保田萌可¹, 大森一弘², 永田千晶^{3,4}, 木山史子¹, 坂井田京佑⁴,
 平井公人², 伊東有希², 大久保圭祐⁴, 池田淳史⁴, 高柴正悟²
 (1¹岡大院医歯薬, 2²岡大学術研究院医歯薬・歯周病態,
 3³国立療養所大島青松園, 4⁴岡大病院・歯周科)

第1・2日目 ポスター会場

- P95. 簡易口腔細菌検出装置 orcoa[®]を用いた歯周病関連細菌 (Red complex) 評価の有用性
(歯周)○城戸弘平¹, 後藤邦之² (¹(株) オルコア, ²(医) 八輝会・ごとう歯科クリニック)
- P96. 脂質異常症の集団を対象とした, 歯周組織の炎症と血清脂質情報の関連性: 横断研究
(歯周)○清水伸太郎¹, 長澤敏行², 辻 昌宏³, 渡邊裕之⁴, 寺田 裕⁴, 杉山のどか¹,
加藤幸紀¹, 小西ゆみ子⁵, 森 真理⁵, 舞田健夫⁶, 川上智史⁷, 古市保志¹
(¹北医大歯・歯周歯内, ²北医大・臨床教育管理運営, ³天使病院糖尿病・代謝センター,
⁴北医大病院・歯科, ⁵北医大・高度先進保存, ⁶北医大・高度先進補綴, ⁷北医大予防医療科学センター)
- P97. 当院糖尿病教育入院患者の歯周病, 糖尿病, 糖尿病合併症の状態について
(歯周)○中井 敬^{1,2}, 雨宮 傑^{1,2}
(¹京都中部総合医療センター・歯科・歯科口腔外科, ²京府医大院・歯科口腔科学)
- P98. Lipopolysaccharide 刺激されたヒト口腔組織微小血管内皮細胞に対する
(歯周) エナメルマトリックスデリバティブの影響
.....○八坂直道¹, 丸山昂介², 鈴木亮太郎¹, 佐藤遥香¹, 川上 惇¹, 鈴木優矢¹, 両角祐子^{2,3}, 佐藤 聡^{1,2,3}
(¹日歯大院新潟・歯周機能治療, ²日歯大院新潟・歯周病, ³日歯大院新潟・総合診療)
- P99. メチレンブルー存在下での高出力赤色 LED 照射による光増感反応が歯肉の創傷治癒に及ぼす影響
(歯周)○皆川咲佳, 山内伸浩, 田口洋一郎, 梅田 誠 (大歯大・歯周病)
- P100. ☆ 歯周歯内病変による重度骨欠損部位に対してリグロス[®]とサイトランス[®]グラニュールを併用した
(歯周) 歯周組織再生療法を行った一症例
.....○二宮雅美, 植村勇太, 湯本浩通 (徳大院・歯周歯内)
- P101. 審美目的来院者を対象とした PMTC 経験回数と歯周病パラメータの関連に関する年齢別解析
(歯周)○中畑亜加音, 松江萌香, 浅木隆夫 (ホワイトエッセンス (株)・ヘルスケア事業本部)
- P102. ウルトラファインバブル水による超音波スケーラーを用いた歯石除去時の摩擦低減効果に関する比較検討
(歯周)○松江萌香¹, 新井未知可¹, ウィジェツング チャマリ¹, 磯貝彩帆¹, 吉岡弥慎¹, 中畑亜加音¹,
浅木隆夫¹, 寺坂宏一² (¹ホワイトエッセンス (株)・ヘルスケア事業本部, ²慶應大理工)
- P103. う蝕原性細菌 *Streptococcus mutans* およびその他の口腔内細菌に対する微酸性電解水の抗菌活性
(歯周)○西濱早紀^{1,2}, 宮田彩加^{1,2}, 柴 秀樹¹
(¹広大院医系科学・歯髄生物, ²広大院医系科学・細菌)
- P104. *Streptococcus ursoris* の産生する新規バクテリオシンの同定
(その他)○王 楚天, 武田克浩, 柴 秀樹 (広大院医系科学・歯髄生物)
- P105. ラマン分光法と新規ケモメトリックスを応用した感染症迅速診断技術の開発
(その他)○足立哲也¹, Giuseppe Pezzotti², 今村隼大^{1,2}, 山本俊郎¹, 金村成智¹
(¹京府医大院・歯科口腔科学, ²京都工芸繊維大院工芸科学・セラミック物理)
- P106. 炎症性腸疾患患者への歯周病初期治療の効果と検証
(歯科衛生士)○梶原貴子, 石井京子, 野口知勢, 中野将人, 鎌野優弥, 八幡祥生, 齋藤正寛
(東北大院歯・保存, 東北大病院・歯内療法科)
- P107. SillHa を用いた唾液中白血球エステラーゼ活性と歯周炎検査の相関性に関する研究
(歯科衛生士)○石井京子, 梶原貴子, 中野将人, 鎌野優弥, 八幡祥生, 齋藤正寛
(東北大院歯・保存, 東北大病院・歯内療法科)
- P108. 矯正歯科治療前の CAMBRA を用いたカリエスリスク評価
(歯科衛生士)○宮崎玲菜¹, 田中由貴¹, 鶴田はねみ², 高垣智博², 留 和香子³, 北井則行³, 二階堂 徹²
(¹朝日大医科歯科医療センター・歯科衛生部, ²朝日大歯・修復, ³朝日大歯・矯正)

P109. 歯科治療に対する歯科衛生士の意識調査—臨床経験年数による比較と患者認識との相違—

(歯科衛生士)○渡邊真由美¹, 武村幸彦², 莊司 琴¹, 麻生綾子³, 松本文恵⁴, 花岡孝治⁵, 向井義晴²
(¹神歯大・歯科メンテナンス, ²神歯大・保存修復, ³神歯大短大,
⁴神歯大附属横浜クリニック, ⁵神歯大・歯学教育)

P110. 朝日大学医科歯科医療センターの在宅訪問診療における歯科衛生士業務の実態調査

(歯科衛生士)○市川清香¹, 野村玲奈¹, 渡邊友美¹, 高橋明里¹, 西口梨紗¹, 長屋優里菜¹,
堀 十月¹, 土藏明奈¹, 久世恵里子¹, 日下部修介², 二階堂 徹²
(¹朝日大医科歯科医療センター・歯科衛生部, ²朝日大歯・修復)